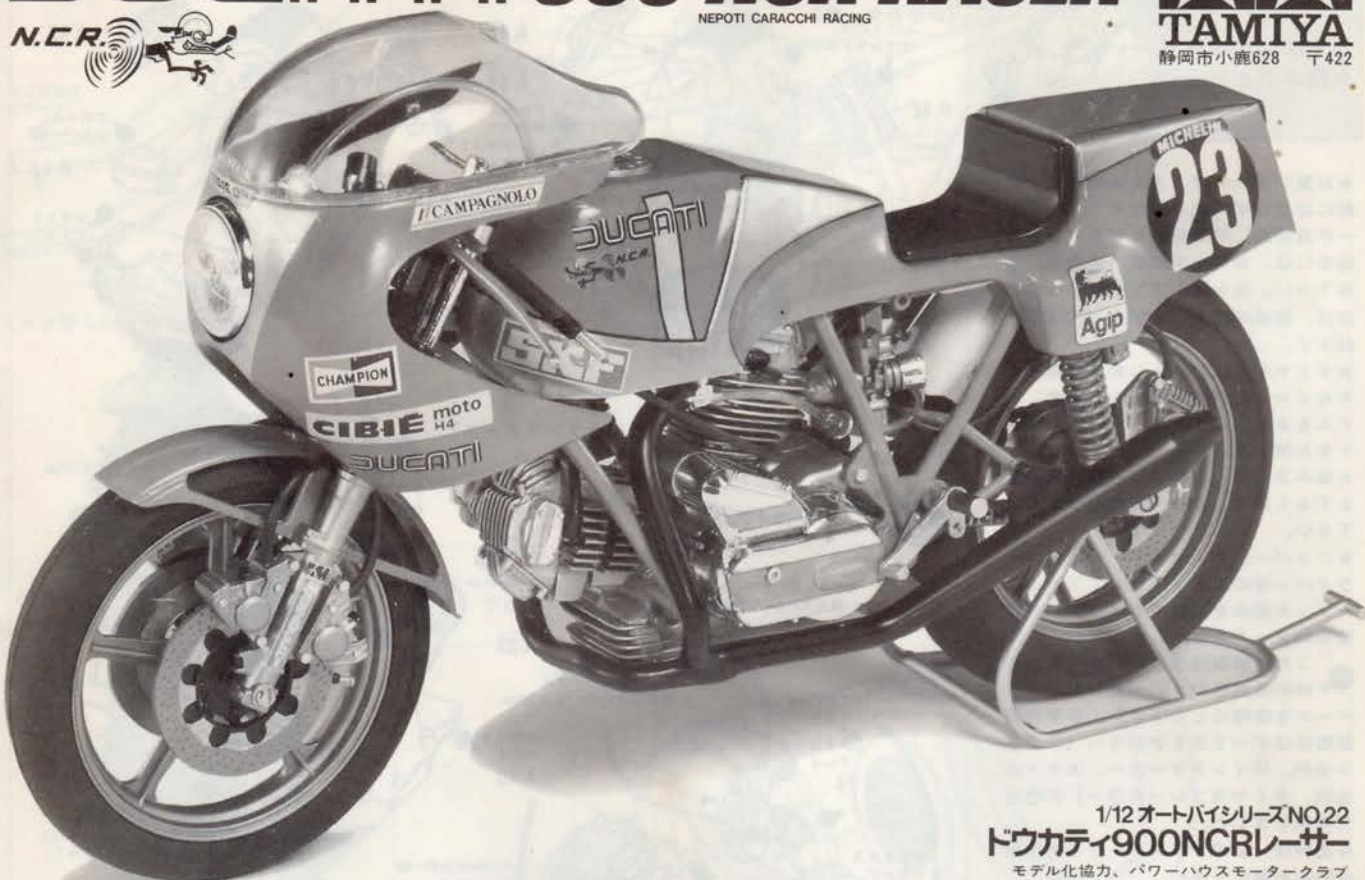


DUCAATI 900 NCR RACER

NEPOTI CARACCHI RACING


TAMIYA
 静岡市小島628 丁422


1/12 オートバイシリーズ NO.22
ドウカティ900NCRレーサー
 モデル化協力、パワーハウスモータークラブ

スズキの名チューナーといえばヨシムラ、カワサキのチューナーと言えばモリワキ、また車ではBMWにアルビナ、オベルにイルムシャー、フィアットにアバルトなど、自動車やオートバイには専門のチューナー、チューニングショップが名を知られている場合が少なくありません。イタリアの個性派モーターサイクルメーカーとして知られるドウカティは、スポーツマインドにあふれたマシンを作り続け、世界中に熱狂的なファンを持っていますが、ドウカティのチューニングで有名なのがNCRです。チューナーとは言っても、ドウカティとの結びつきは強く、ドウカティのレーシング部門を担当する準ワークス的な存在と言えます。

NCR、正式にはスクーデリアNCRと呼ばれますが、元ドウカティの技術者をしていたネポティ・ジョルジオ、カラッキ・リノ、リッチ・レナルドの3人によって作られ1959年から活躍を続けています。NCRの名前は3人の頭文字を取ったものですが、その後リッチが去り、ネポティ・カラッキ・レーシングとして現在に至っているのです。ほんの小さなメーカー系レーシングチームのNCRですが、その活躍は目ざましいものがあり、世界中のドウカティファンの注目と期待を集めています。1978年、マイク・ヘイルウッドが乗ってイギリスのマン島TTレースに優勝したマシンも、NCRの手によって仕上げられたものです。また、1981年、市販車ベースのマシンで争われるフォーミュラTT2の世界選手権で見事チャンピオンを獲得したレーシング・パンタもNCRによって徹底したチュ

ーニングが施されていると言われます。NCRからはさらに数多くのチューニングパーツも作り出され、世界中のドウカティファンの手に残っているのです。

ドウカティのチューナーとしては神話的な存在とも言えるNCRですが、そのNCRがドウカティの900をベースにTTフォーミュラ1や耐久レース用に製作したのがドウカティ900NCRレーサーです。世界のレース界、特に大排気量車に関しては日本メーカーの独壇場とも言えるような状態ですが、その中で奮戦を続けるヨーロッパ車の1台です。日本車の大パワーに対して、ドウカティNCRの武器は軽量とスリム、コンパクトな仕上がりによるハンドリングです。ストレートでこそパワー差により引き離されるものの、コーナーの多いコースではその軽快な操縦性に物を言わせてしばしば日本のビッグバイクレーサーを追いまわす活躍を見せ、そのポテンシャルを証明して見せたのです。

エンジンはもちろん、空冷の2気筒で、90度の角度を持ってレイアウトされた2気筒は前のシリンダーが水平近くまでねかされた形で、L型ツインと呼ばれます。このLツインエンジンはバルブ開閉機構に通常のカムとスプリングを使用したものとは違った独自の機構が用いられています。デスモドロミック機構と呼ばれるもので基本的にはSOHCですが、スプリングを使わずに強制的にバルブを開閉するのが特徴です。このメカニズムは1954年にドウカティの技術者、ファビオ・タリオニがモーターサイクル用として完成させたものですが、ドウカティと切り離しては考

えられないメカニズムと言えます。通常のバルブシステムより無理なく高回転が得られるのが特徴で、長いドウカティのレース歴の中で完成され、実力を示してきたメカニズムです。NCRでは排気量を871.9ccにまでアップし、各部に絶妙なチューニングを施しています。チューンの度合いはレースによっていろいろのものが用意されているようです。

フレームはベルリッキ製のものとなっており、サスペンションは前後にマルゾッキを装備、ブレーキはブレムボ、さらに、キャブレターはデロルト、ホイールにはカンパニョーロなど、イタリアの有名メーカーのパーツが組み合わされ、イタリアンならではの仕上がりを見せます。おもしろいのはクラッチレバーで、ブレーキレバーよりもぐっと長いものをセット。テコの作用でより軽い力で作動させられるようにふうされています。日本製ビッグバイクなどに見られるような目新しい技術や機構が豊富に組み込まれているわけはありませんが、Lツインのスリムさと軽さを生かしたハイレベルな仕上げで高いポテンシャルを有しています。

スクーデリアNCRのカラーリングはイタリアンレッドにシルバーの塗り分け。過去のグランプリレーサーで活躍したMVアグスタや初期のホンダグランプリレーサーを思わせるカラーリングです。そしてマークはヘルメットとゴーグルをつけた狼が疾走している漫画タッチのもの。ユーモラスで目を引きまわす。ドウカティとNCRのコンビは世界中のドウカティファンの支持の中、今後も各地のレースで活躍を続けていく中でしょう。

作る前に必ず
お読み下さい。

★お買い求めの際、または組み立ての前には必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組み立てを始めた後は、製品の返品、交換などに応じかねます。

★タミヤからはピン入りの接着剤タミヤセメントが別売されております。モデルをきれいに仕上げるタミヤセメントをお使い下さい。

★組み立てに入る前に、説明図を最後までよく見て、全体の流れをつかんで下さい。

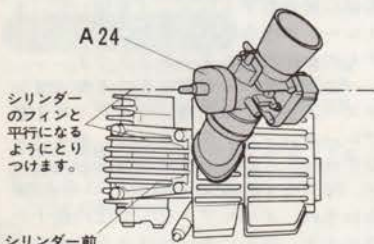
★ニッパー、ピンセット、ナイフ、ドライバ等工具を用意して下さい。
★メッキ部品を接着する時は、必ず接着面のメッキをはがして下さい。

●これは塗装指示のマークです。全体の塗装はP8のペインティングページを参考にして下さい。各部の塗装指示はすべてタミヤカラー（アクリル塗料、ペイントマーカー、エナメル塗料、タミヤスプレーカラー）の色名で指示しました。

★塗料は、必ずプラスチックモデル用塗料をお使い下さい。

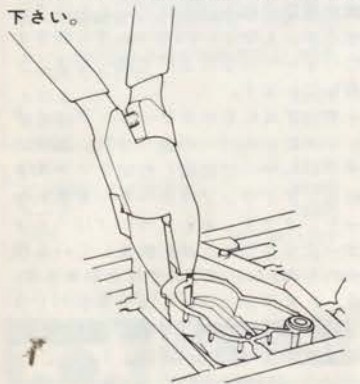
2 (エンジンのくみ立て)

《キャブレターのとりつけ》



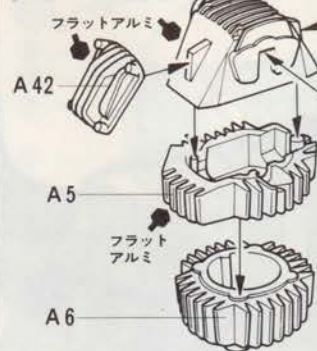
《部品を切りはなす》

部品をランナー（枝）から切りはなす場合には手でもぎとらないでニッパーやナイフなどでていねいに切り取って下さい。

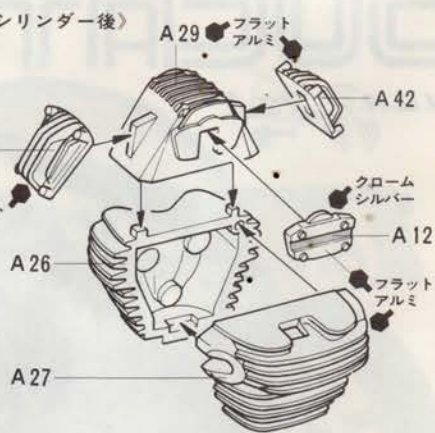


1 シリンダーのくみ立て

《シリンダー前》



《シリンダー後》



2 エンジンのくみ立て

アクセルワイヤーA
黒ビニールパイプ細50mm

プラグコード
黒ビニールパイプ細70mm

メタリックグレイ
A24 フラットアルミ

セミグロスブラック
A40 フラットアルミ

シリンダー前
A40 フラットアルミ

B2 フラットアルミ

C5 フラットアルミ

シリンダー後
A40 フラットアルミ

アクセルワイヤーB
黒ビニールパイプ細85mm

メタリックグレイ
A25 フラットアルミ

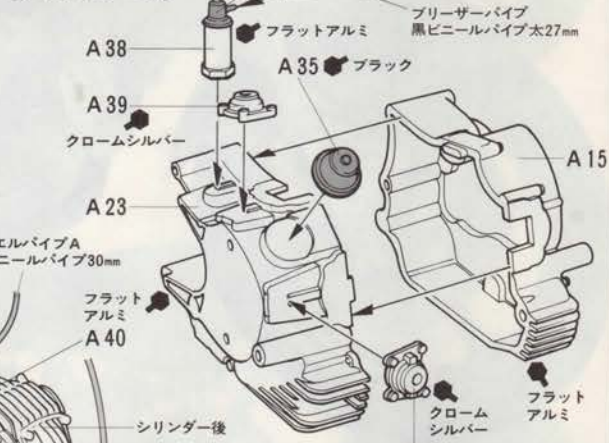
フルードパイプA
透明ビニールパイプ30mm

フルードパイプB
透明ビニールパイプ30mm

シリンダー後
A40 フラットアルミ

フルードパイプA
透明ビニールパイプ30mm

《クランクケース》



シリンダー後
A40 フラットアルミ

フルードパイプA
透明ビニールパイプ30mm

フルードパイプB
透明ビニールパイプ30mm

シリンダー後
A40 フラットアルミ

フルードパイプA
透明ビニールパイプ30mm

フルードパイプB
透明ビニールパイプ30mm

シリンダー後
A40 フラットアルミ

フルードパイプA
透明ビニールパイプ30mm

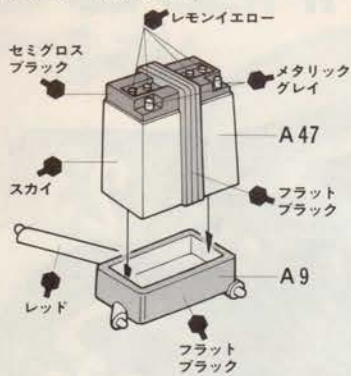
フルードパイプB
透明ビニールパイプ30mm

シリンダー後
A40 フラットアルミ



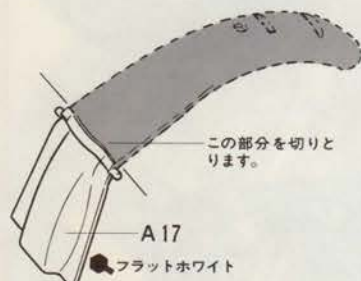
3 (フレームのくみため)

《バッテリーのくみため》

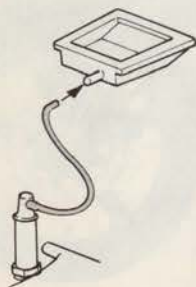


4 (エンジンのとりつけ)

《リアフェンダーのきりとり》

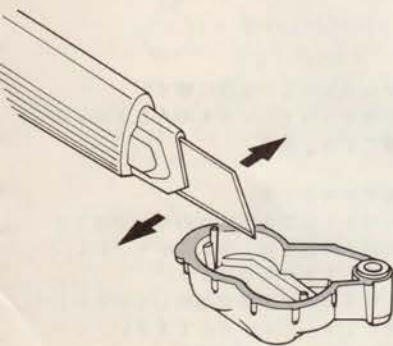


《ブリーザーパイプのとりつけ》



《メッキをはがす》

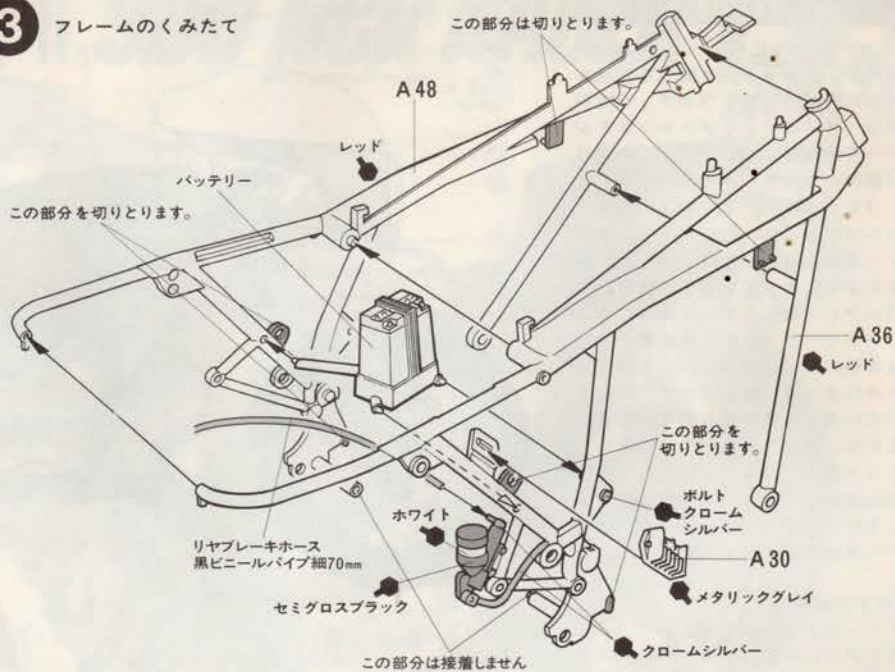
メッキ部品の接着面は必ずナイフなどでメッキをはがして下さい。



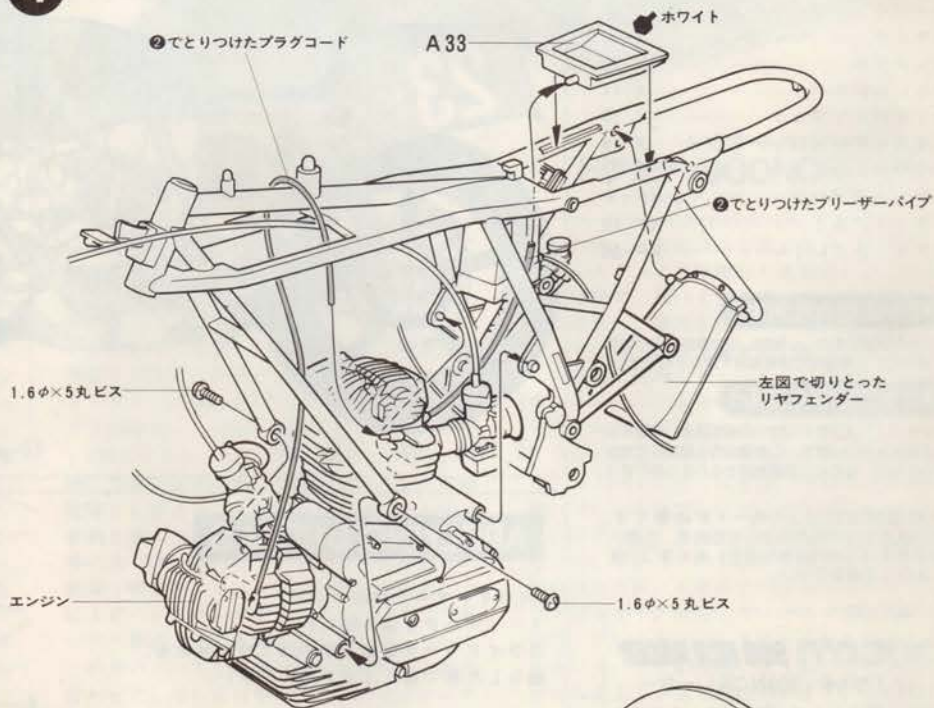
家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
 1. 幼児の手の届かないところに保存し、いたずらをしない様注意して下さい。
 2. 火気に注意し換気をよくして下さい。
 3. 故意に吸わない様注意して下さい。
 表示者 S.Z.3000 S.Z.3006 S.Z.5013

部品は、幼児が触りやすい様に包装を
 取り出し、空

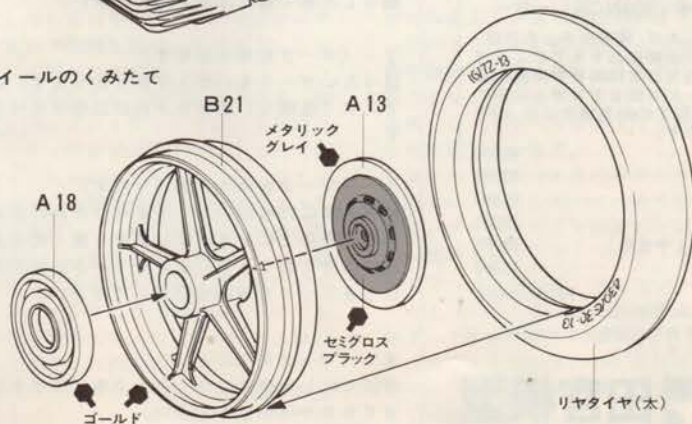
3 フレームのくみため



4 エンジンのとりつけ



5 リヤホイールのくみため

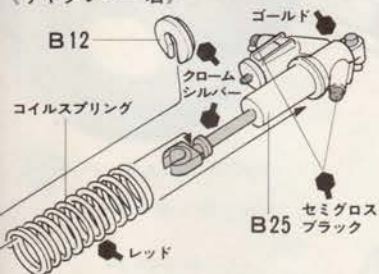


6 〈スイングアームのくみため〉

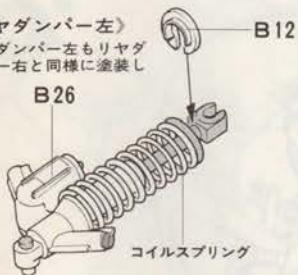


7 〈スイングアームのとりつけ〉

〈リヤダンパーのくみため〉
 〈リヤダンパー右〉



〈リヤダンパー左〉
 リヤダンパー左もリヤダンパー右と同様に塗装します。



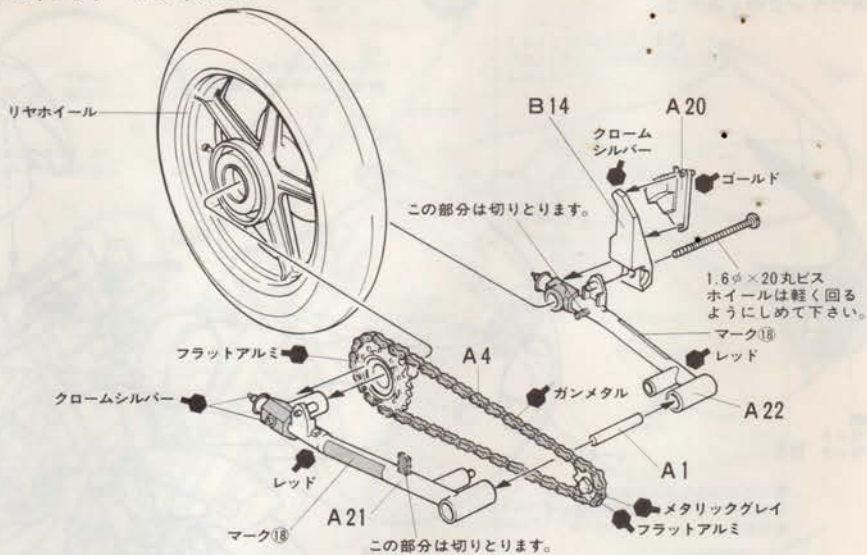
8 〈スタンドのくみため〉

〈スタンドの使用法〉

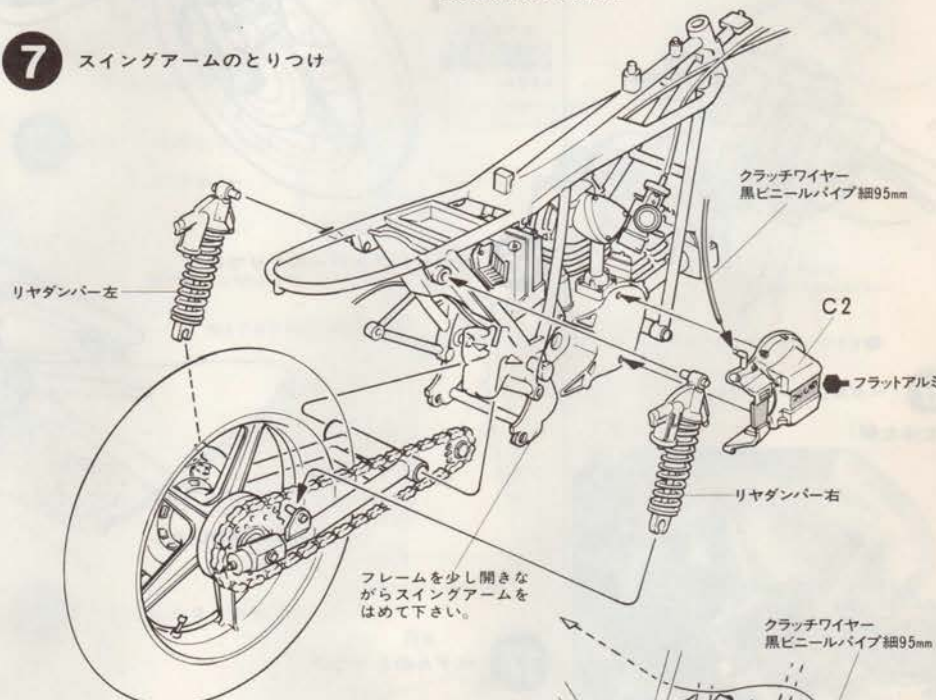


TAMIYA COLOUR CATALOGUE
 The latest in cars, boats, tanks and ships. Motorized, radio controlled and museum quality models are all shown in full colour in Tamiya's latest catalogue. At your nearest hobby supply house.

6 スイングアームのくみため



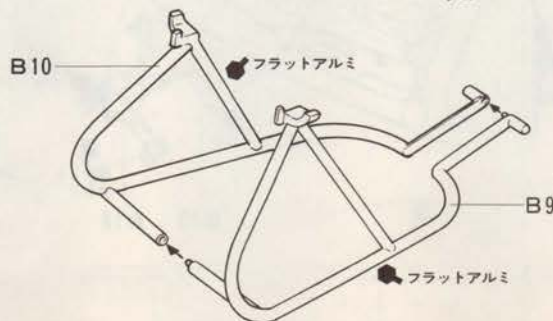
7 スイングアームのとりつけ



〈チェーンのとりつけ〉

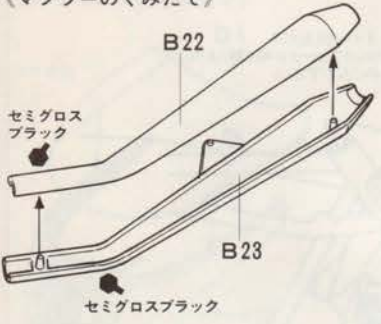


8 スタンドのくみため



9 〈マフラーのとりつけ〉

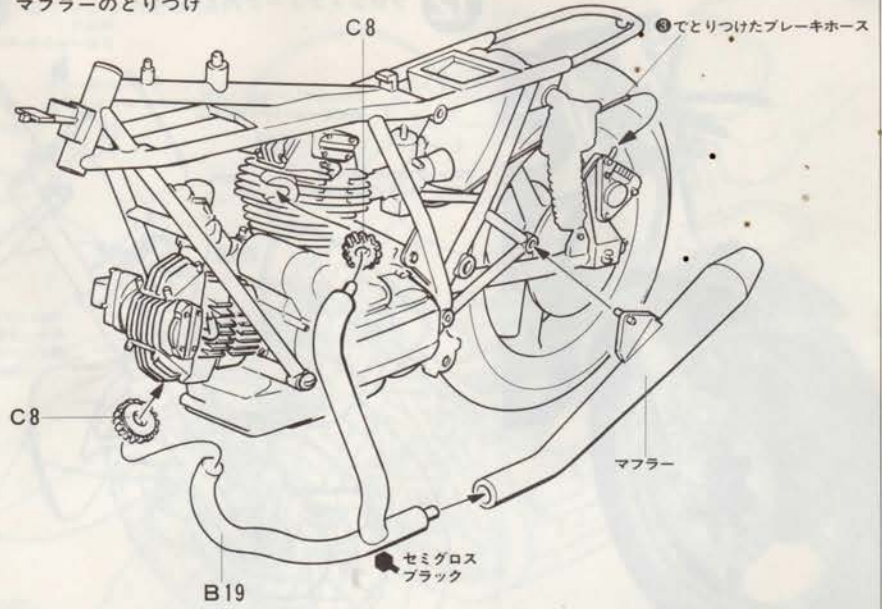
〈マフラーのくみため〉



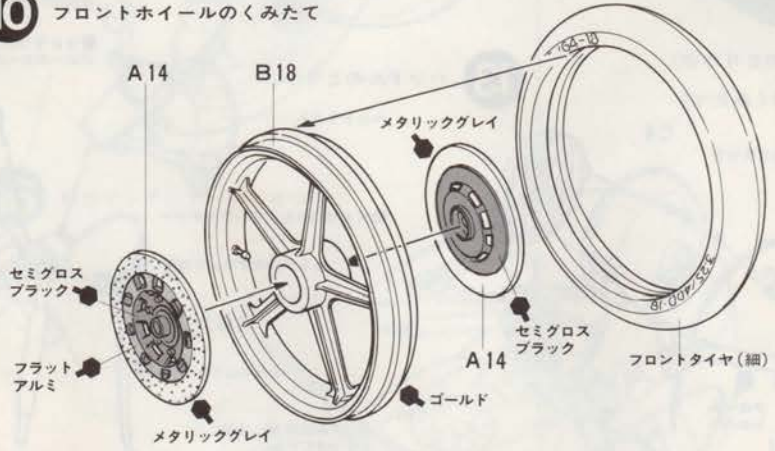
〈マフラーのとりつけ〉



9 マフラーのとりつけ



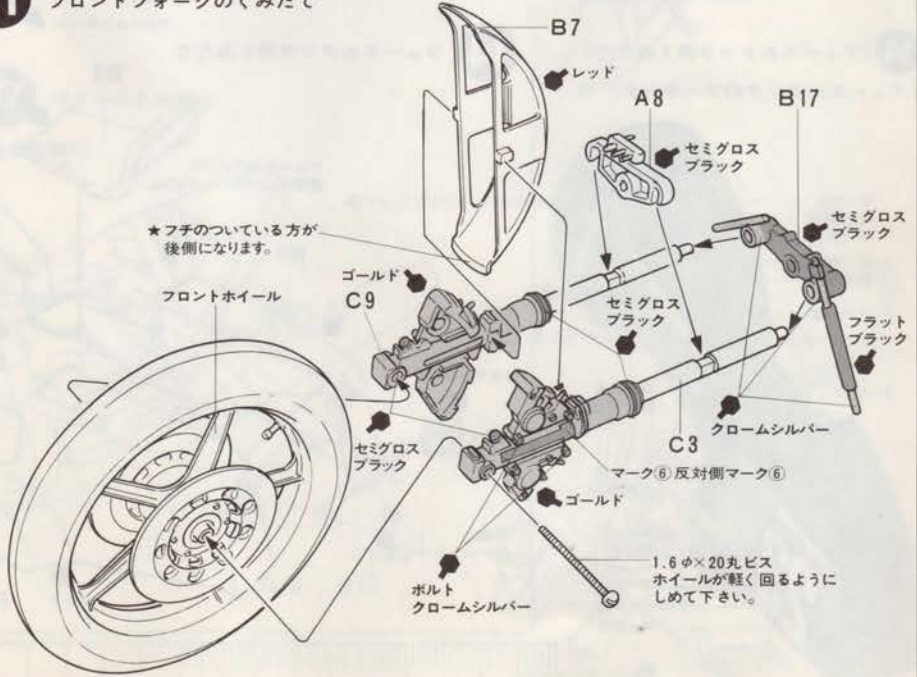
10 フロントホイールのくみため



11 〈フロントフォークのくみため〉

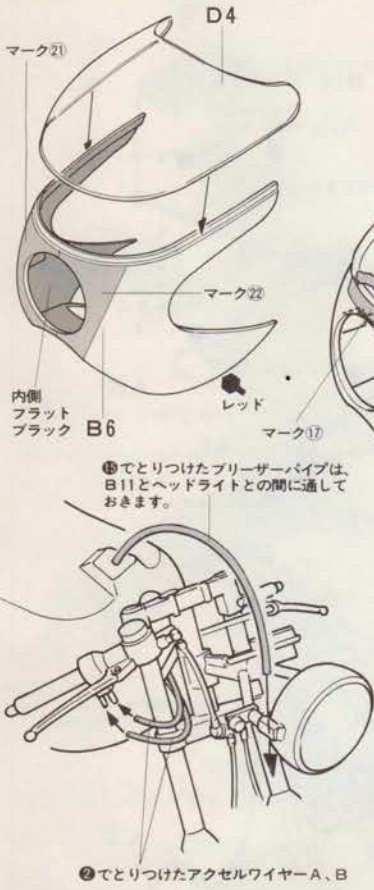


11 フロントフォークのくみため

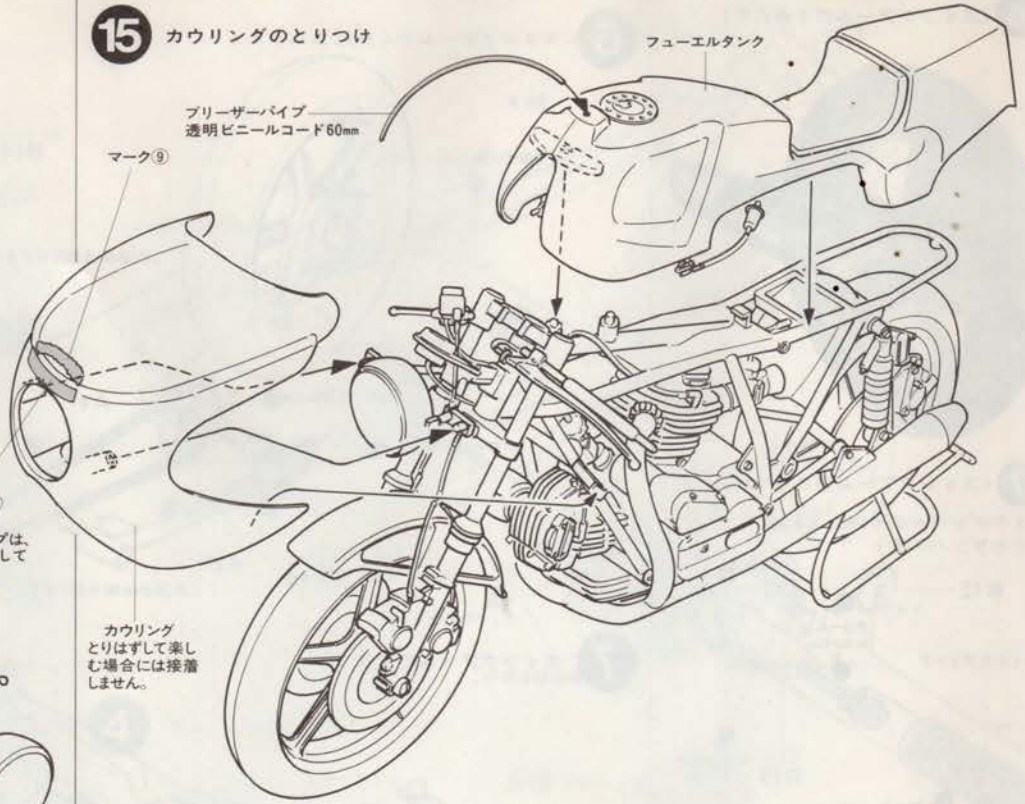


15 (カウリングのとりつけ)

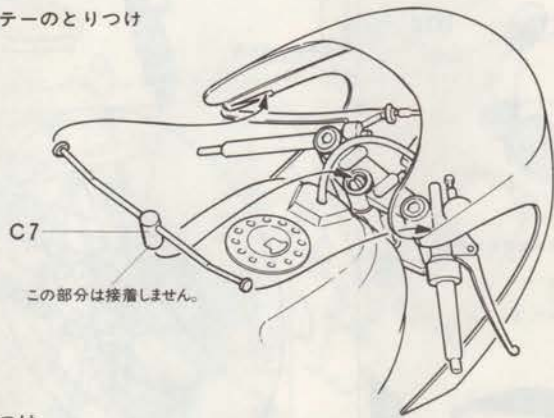
(カウリングのくみたて)



15 カウリングのとりつけ



16 カウリングステーのとりつけ



17 (ペダルのとりつけ)

〈車体左側〉

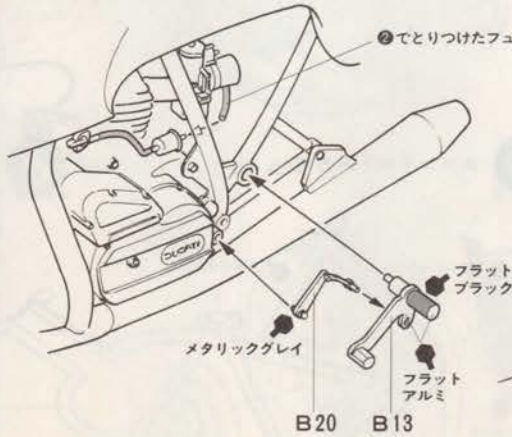


〈車体右側〉

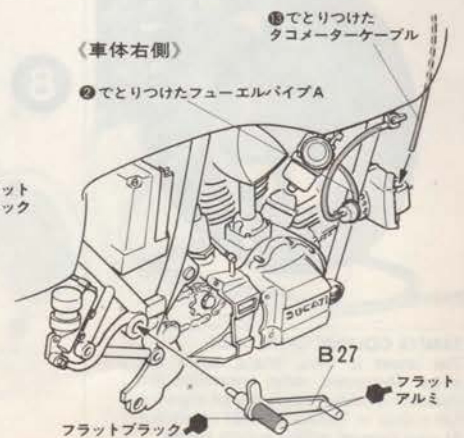


17 ペダルのとりつけ

〈車体左側〉



〈車体右側〉



不要部品

A 2. 3. 7. 10. 11. 16. 19. 34. 37.
41. 45. 46. 49. 50. 51. 52.

PAINTING

《ドウカティ900N.C.R.レーサーの塗装》
 ドウカティのレーシング部門を担当するNCRの手になるドウカティ900NCRレーサーはイタリアンレッドとシルバーで塗装されています。この塗り分けはNCRのチームカラーです。また、フレームは赤、2イン1の集合マフラーはブラック、カンパニョーロのホイールはゴールドで仕上げられ、精悍さをも示しています。狼をマンガ的にアレンジしたマークはNCRのトレードマークですが、その他のマークは各種のパーツメーカーのもので、レースによって、またオーナーによっていろいろなものが貼られているようですから、あなたもオーナーになったつもりで選んでみるとよいでしょう。組部の塗装やマーキングは組み立て図中にも示してあります。ていねいな仕上げで完成を高めて下さい。

《使用する塗料》

- スプレー式タミヤカラーより
 イタリアンレッド……………TS-8
 ゴールド……………TS-21
 筆塗り塗料アクリル塗料・エナメル塗料・ペイントマーカーより
 ブラック……………X-1
 ガンメタル……………X-10
 クロームシルバー……………X-11
 セミグロスブラック……………X-18
 クリヤーオレンジ……………X-26
 クリヤーレッド……………X-27
 フラットブラック……………XF-1
 フラットアルミ……………XF-16
 メタリックグレイ……………XF-56

タミヤの総合カタログ

タミヤの全製品を詳しく解説した総合カタログは年に1回発行。ご希望の方は模型店でおたずね下さい。

タミヤニュースを読もう

タミヤニュースはモデル作りの情報誌として多くの方に愛読されています。ご希望の方は模型店でおたずね下さい。当社より定期購読する方法もあります。

★部品請求にはこのカードが必要です。部品請求をなさる方はあなたの氏名、住所、郵便番号（できれば電話番号）を1字づつはつきりとお書き下さい。

DUCAITI 900 NCR RACER

1/12 ドウカティ900NCRレーサー

部品を紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸でかこみ代金を現金書留又は定額為替で田宮模型アフターサービス係までお申し込み下さい。500円以下の部品請求には、切手で代用できます。

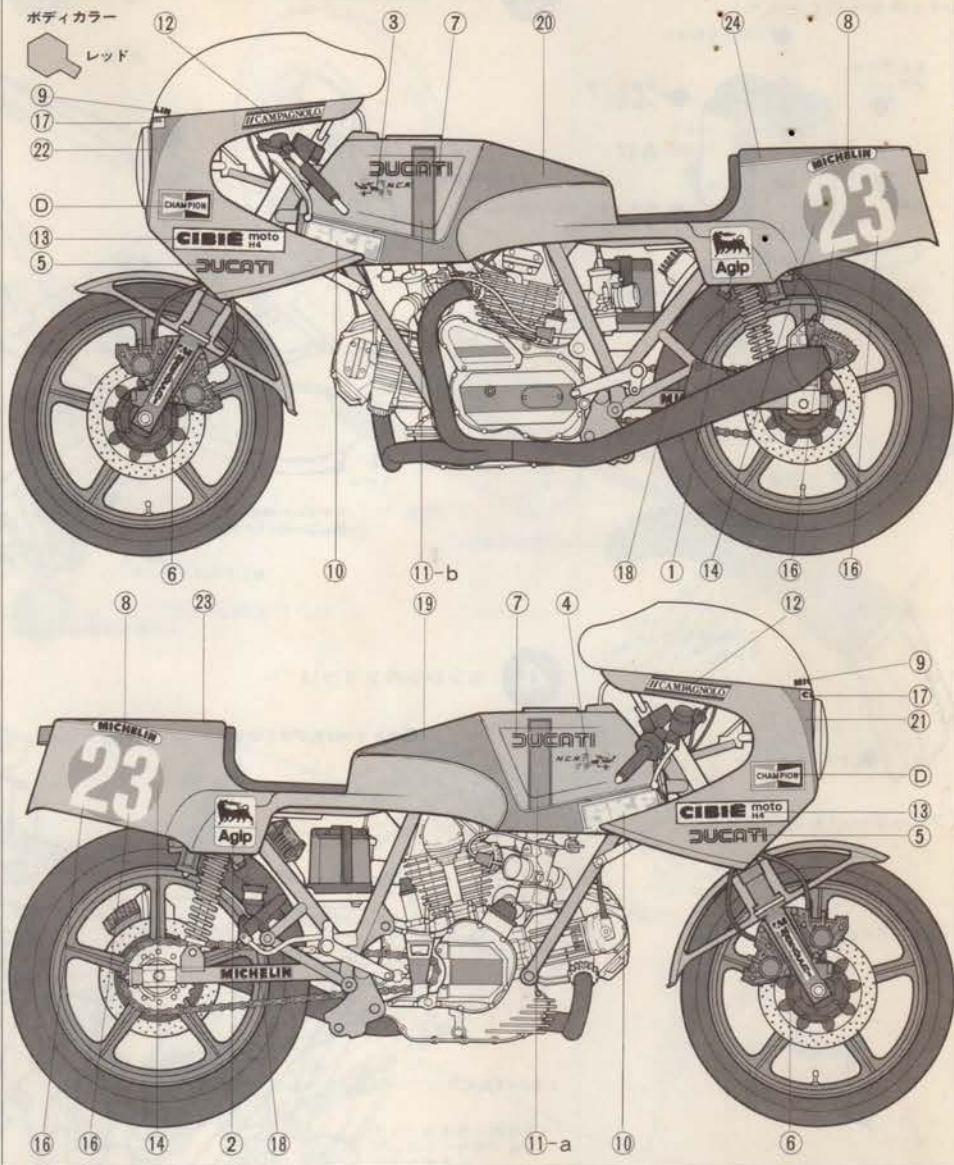
- | | |
|------------------|------|
| A 部品…………… | 400円 |
| B 部品…………… | 400円 |
| C 部品…………… | 300円 |
| D 部品…………… | 250円 |
| ビス袋詰(タイヤ含む)…………… | 400円 |
| マーク…………… | 150円 |

0286 KIT.NO 1422

上記の価格は予告なく変更となる場合が、ありますので御了承下さい。

田宮模型
 静岡市小島628 千422

《ドウカティ900NCRのマーキング》



APPLYING DECALS

《スライドマークのはりかた》

1-《マークをはる前に》

スライドマークを貼る所のほりりや油気を、ぬらした布で良くふきとって下さい。

2-《マークを切りはなす》

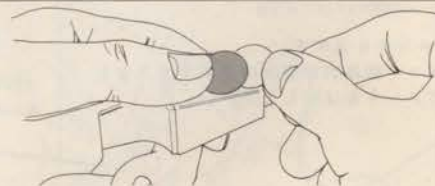
はりたいマークをハサミで切りとります。必ずニス(透明な)部分をきれいに切りとります。

3-《マークをぬるま湯にひたす》

ぬるま湯に10秒程ひたしてからひきあげタオル等の布の上におきます。あまり長くぬるま湯につけておくとのがとけマークがモデルにつきにくくなるので注意して下さい。

4-《マークをはる》

台紙のはしを手でもち、マークをスライドさせてモデルに移して下さい。



5-《マークを正しい位置に移す》

指に少し水をつけてマークをぬらしながら正しい位置にずらしします。

6-《布で水分をとる》

タオル等のよく水気をすうやわらかい布でマークの内側の気泡をおし出ししながら、おしつけるようにして水分をとります。マークをはる場所が曲面や凸凹している時はむしタオルでマークをおさえて下さい。マークがモデルの形になじみます。

そのままマークが完全に乾くまで手をふれないでいて下さい。はみだした部分は乾いてからナイフで切りとって下さい。